

北海道看護協会十勝支部ニュース

発行者 (社)北海道看護協会十勝支部  
編集責任者 鈴木 智子

# Nursing あい

No. 109

2023年7月発行



北海道看護協会 シンボルマーク

## 支部長挨拶

社会医療法人北斗 北斗病院 看護部長  
十勝支部長 鈴木 智子

日頃より会員の皆様には、支部活動へのご理解とご協力を頂き厚くお礼申し上げます。

令和5年2月の支部大会において、支部長に就任いたしました北斗病院の鈴木です。昨年度から第二書記として十勝支部役員を勤めさせていただきましたが、まだまだ力不足ではあり会員の皆様にご迷惑をおかけしないように努めてまいりたいと存じます。



令和5年5月8日に新型コロナウイルス感染症の感染症法の位置づけが「2類相当」から5類感染症へ移行に伴い、国内では感染予防対策の緩和が進んでいます。しかし医療・介護の現場では、患者様ご家族のニーズに沿った対策緩和に移行しつつも、感染症蔓延予防対策の徹底が望まれています。事実上はアフターコロナに転換いたしました。このコロナ禍で全ての医療・福祉・介護・在宅などの現場で、激務の中働いてこられた看護職の功績は大きく、その活動に敬意と誇りを感じています。

全国的には人口減少・高齢化が着実に進み、この十勝でも労働力の減少は深刻で、看護の担い手の確保、看護職の育成も大きな課題です。十勝支部では今年度「あらゆる年代の看護職が安全で健康に働き続けられる職場環境の整備」を目標に掲げ、看護職の皆様が地域の中で、生き生きと働き続けられる環境作りを推進すると共に、地域のニーズに沿った専門職としての役割の発揮を目指し活動を続けてまいります。

会員の皆様には何卒健康に留意し、引き続き支部活動に支援、ご協力をお願い申し上げます。

### 令和5年度 北海道看護協会 十勝支部目標

1. キャリア開発の支援と看護職の質の向上に努め、専門職業人としての役割を發揮する
2. 地域包括ケア推進に向け、各領域で看護の役割を認識し、医療と介護の連携強化を図る
3. あらゆる世代の看護職が安全で健康に働き続けられる職場環境の整備

今年度より十勝支部事務局が  
下記に変更になっております

北海道看護協会  
十勝支部事務局

北斗病院

—所在地—

社会医療法人北斗 北斗病院

〒080-0833

帯広市稲田町基線7番地5

TEL (0155) 48-8000

FAX (0155) 49-2121

# 生き活き プラチナナース

## 後世に伝えたい看護

帯広第一病院 障害者施設病棟  
看護師 阿部 世幸

20歳から46年間看護師として働いてきました。看護師としての終盤を迎える今、「後世に伝えたい看護」について、改めて考える機会をいただきました。

私が看護師になり立ての頃、大病を患い入院を経験した父が「看護師は患者さんに優しくなければだめだよ」と言った言葉が今でも忘れられません。父のこの言葉が看護師になった私への最初で最後のアドバイスだったからかもしれません。



実際看護師として仕事を続ける中では、時間に追われ患者さんとじっくり話すことが出来なかったり、患者さんの言葉に悲しい思いをしたり、暴力を振るわれ腹を立てたりと「私は優しい看護師になんかなれない」と、幾度となく心が折れたことを思い出します。そんな私も長年この仕事を続けてきて思うことは、患者さんの言葉や行動の裏には、様々な計り知れない感情があり、現在おかれている状況に対する自分自身への怒りや悲しみ、不安や寂しさがあること。その思いを受けとめ、患者さんの心の言葉に耳を傾け、真の意図をくみ取る力を養い、そこに応えていくこと。そして患者さんと一緒に笑顔になること。それが父が私に伝えたかった本当の意味での“優しい看護師さん”なのだと思います。

## 後世に伝えたい看護

社会医療法人北斗 十勝自立支援センター  
介護老人保健施設 かけはし 看護師 浅津真由美

看護学校を卒業し、結婚・育児・親の看取りを経験しながら気がつけば40年が経ちました。病棟、外来、患者サポートセンター、居宅介護施設、老健と働く中で看護職は自分にとって天職だったと思う事ができます。

医療や看護により患者さんが健康を取り戻すのを目の当たりにする時、「看護師として働いていて良かった」と何度思ったかしれません。又、患者さんやご家族から直接もらう感謝の言葉は純粋に嬉しい事です。



知識を深め、技術を高める事は、自分にとって大切な事ですが、患者さんの為に使える事、自分の中に貯蓄した多くの引き出しの中からその方に最も適したケアが実践でき、分かり易く説明したり、相談にのれる為だと思っています。それが上手くいくと「よし、もっと色々調べてみよう」というプラスのサイクルになって、更に信頼される看護師になっていけると信じています。

コロナ禍での日々奮闘する看護師の姿には、社会貢献性の高い専門職だと再認識され、コロナ医療など一定の役割を担う医療機関に勤務する看護職員を対象に処遇改善事業補助金も開始されています。

これからを引き継いで下さる皆さん、是非とも看護職に誇りを持って一層活躍される事を願っています。

看護協会「プラチナナース」とは、「定年退職前後の就業している看護職員」で、自分のこれまでの経験をふまえ、持っている能力を発揮し、いきいきと、輝き続けている看護職員の呼称です。



# 2023年度新役員紹介



- 支 部 長 鈴木 智子 (社会医療法人北斗 北斗病院)
- 第一副支部長 原尾久美子 (音更町役場 音更町保健センター)
- 第二副支部長 高橋 千秋 (北海道立緑ヶ丘病院)
- 第一書記 森田 彰弘 (社会医療法人北斗 北斗病院)
- 第二書記 塚本 美保 (北海道医療団 帯広第一病院)
- 会 計 三浦 大輔 (JA北海道厚生連 帯広厚生病院)
- 会 計 谷尻 智美 (清水赤十字病院)



## 保健師職能委員

- 猪狩 等 (鹿追町トリムセンター)
- 松下 恵 (上土幌町役場)
- 中川 郁子 (足寄町役場 福祉課)
- 大宮友香子 (新得町保健福祉センターなごみ)
- 工藤このみ (陸別町保健福祉センター)

## 助産師職能委員

- 新沼美菜子 (医療法人社団慶愛 慶愛病院)
- 名古屋優実 (北海道社会事業協会 帯広病院)
- 宮下 智香 (JA北海道厚生連 帯広厚生病院)
- 土森 志乃 (帯広高等看護学院)

## 看護師職能委員

- 西 奈美 (社会医療法人北斗 十勝リハビリテーションセンター)
- 佐藤 美保 (北海道医療団 帯広第一病院)
- 小山 典子 (独立行政法人国立病院機構 帯広病院)
- 岡部 絵理 (JA北海道厚生連 帯広厚生病院)
- 草野めぐみ (社会医療法人恵和会 帯広中央病院)
- 横幕 瞳 (医療法人社団刀圭会 介護老人保健施設アメリティ帯広)

## 働き続けられる職場づくり委員

- 堀内 佳美 (社会医療法人博愛会 開西病院)
- 藤枝 典子 (北海道医療団 音更病院)
- 岡本美喜子 (十勝いけだ地域医療センター)
- 渡邊 公子 (北海道医療団 帯広西病院)
- 黒澤 良介 (医療法人徳洲会 帯広徳洲会病院)

## 教育委員会

- 大溝 敬子 (北海道医療団 訪問看護ステーションたなごころ)
- 福田 由香 (十勝勤医協帯広病院)
- 中山 琴江 (十勝総合振興局 保健環境部保健行政室)
- 佐藤 由佳 (JA北海道厚生連 帯広厚生病院)
- 永井 園光 (北海道社会事業協会 帯広病院)
- 庄司 典子 (公立芽室病院)
- 日置 美佐 (社会医療法人博愛会 開西病院)

## 広報委員会

- 浅井 美奈 (社会医療法人恵和会 帯広中央病院)
- 鈴木千恵子 (北海道医療団 帯広第一病院)
- 坂井 希晶 (医療法人社団博仁会 大江病院)
- 瀬戸 通弘 (社会医療法人北斗 北斗病院)

## 推薦委員会

- 佐藤美愉子 (医療法人社団翔嶺館 音更宏明館病院)
- 古川なおみ (十勝いけだ地域医療センター)
- 尾西 孝一 (土幌町国民健康保険病院)

## 特別委員会

- 堀田 美枝 (医療法人社団刀圭会 協立病院)
- 高橋 徹 (北海道医療団 帯広西病院)
- 寺西亜砂美 (北海道社会事業協会 帯広病院)
- 橋口 郁子 (公立芽室病院)
- 森脇 忍 (医療法人徳洲会 帯広徳洲会病院)

○印は委員長

## 北海道看護協会十勝支部会員数

(2023年5月28日現在)

保 健 師 87名

看 護 師 1,778名

助 産 師 81名

准看護師 155名



会員総数  
2,101名

編 集  
後 記

発行につきまして原稿作成にご協力いただいた皆様に心より感謝申し上げます。

Nursingあい109号をお読みいただきありがとうございます。

メディアからコロナの話題が消え、平穏な日常を取り戻したかのようにレジャーを楽しむ姿を目にします。しかし、依然として新型コロナウイルス感染で重症化に至る患者さんが今も存在し病に苦しんでいるという事を忘れないようにしたいです。

(広報委員/浅井美奈)